

総合的な学習の時間 「『みんなのために』手話体験」

相模原市立若松小学校



単元（題材）目標

- *年間学習テーマ 「みんなのために」 1学期テーマ「助けが必要な人のために」
- 身の周りには、様々な人が生活しており、その方の思いや願いを理解しつつ、共に協力しながら生きていこうとする態度を育てる。

(1) 実施時期

令和元年7月10日（水）

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年 66名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：2名

外部講師：6名 市社会福祉協議会職員1名

(4) 実施内容

- ①講演会「聴覚障がいについて」（手話通訳あり）
 - ・聴覚障がいの方の生活の様子や困っていること
 - ・生まれつき聴覚障がいのある方と中途障がいの方とで手話が使えたり、使えなかったり等の違いが出ること
 - ・聴覚障がいの方が困っていそうときには勇気をもって手助けしてほしいこと
- ②手話体験
 - ・簡単な会話（あいさつ、ありがとう、等）
 - ・手話に関する基礎知識
 - ・指文字による五十音の表し方
 - ・自分の名前
 - ・自己紹介を互いに行う
- ③要約筆記体験
 - ・災害時の避難所での放送アナウンスの大事な部分を書き出して聴覚障がいの方に分かりやすく伝えられるようにする。

(5) 成果

- 聴覚障がいの方の実際の話から、どんな時に困るのかを具体的に知ることができ、相手の立場に立った考え方ができるようになった。
- 知らない方に声をかけることに躊躇していたが、困っている人を見かけたら「助けてい」という思いが強くなっていった。
- 手話に興味を持ち、楽しく自分の名前や友だちの名前を覚えると共に、その後の学習においても聴覚障がいの方が手話の他にどのようなツールで生活を豊かにしているのか調べ、発表し合うことができた。

(6) その他

- 視覚障がい者理解のための講演、アイマスク体験も同時開催した。保護者への参観も呼びかけた。